

平成 17 年 10 月 25 日
川崎市アスベスト対策会議

市が発注する公共工事に対するアスベスト対策等について

1 市が発注する公共工事におけるアスベスト含有建設資材の使用禁止について・・・【資料1】

市では、「川崎市アスベスト（石綿）対策推進方針」を平成 10 年に策定し、アスベスト含有製品の使用抑制、建築物の解体又は改修等に伴う飛散防止等に取り組んで参りましたが、より一層の推進を図るため、平成 17 年 11 月 1 日から市が発注する公共工事には、原則として、原材料にアスベストを含んだ建設資材を使用しないこととします。

2 市内小学校給食室のアスベスト含有回転釜について・・・【資料2】

市内小学校 114 校と諸学校 3 校の給食室回転釜 495 台のうち、小学校 14 校 38 台の回転釜においてアスベスト含有の断熱材が使用されていることが判明いたしました。これらの回転釜につきましては、非飛散型断熱材のため、直ちに飛散するおそれはありませんが、一層の安全性を確保する観点から、断熱材交換・本体交換等を実施いたします。

3 市有施設におけるアスベスト含有吹付け材等の使用実態調査の中間報告について・・【資料3】

市有施設におけるアスベスト含有吹付け材の使用状況について、第 1 次調査結果がまとめました。

なお、吹付け材の使用が認められたもの及び使用材料が判断できない施設については、引き続き建築技術者が行う 2 次調査を実施いたします。

4 アスベスト取扱い工場について・・・【資料4】

市では、労働基準監督署と連携し、アスベスト取扱い事業所の実態把握に努めておりますが、今般、中原区において新たに 1 事業所が判明いたしました。

*問い合わせ先については、各資料記載のとおりです。

(川崎市アスベスト対策会議事務局)

環境局総務部環境調整課 小島

電話：200-2385

内線：29301

市が発注する公共工事におけるアスベスト含有建設資材の使用禁止について

川崎市が発注する公共工事には、原則として、原材料にアスベストを含んだ建設資材を使用しないこととします。

1 現在の取り組み

現在、市が発注する公共工事については、労働安全衛生法の趣旨に基づき、アスベスト含有量が 1 パーセントを超える建設資材は使用しておりません。

2 アスベストを含まない製品化への取り組み

建材メーカーでは、アスベストを使用しない製品化への取組みが進んでおり、代替製品が開発されています。

3 今後の対応

アスベストによる市民不安が拡大しないよう、市が発注する公共工事においては、原則、アスベストを原材料としていない建設資材を使用します。

具体的な取組みとしては、設計図書に、アスベストを原材料としていない建設資材を用いて施工するよう明記しました。

確認にあたっては、メーカーが発行する「アスベストを原材料としていない旨の証明書」などにより行うこととします。

4 適用期日

平成 17 年 11 月 1 日から発注する工事に適用します。

(問い合わせ先)

まちづくり局施設整備部公共建築担当 山下

電話：200-2967

内線：37201

市内小学校給食室のアスベスト含有回転釜について

川崎市内小学校・諸学校給食室の回転釜の一部に、アスベスト含有断熱材が使用されていることが調査により、判明いたしました。

回転釜の保有台数 117校 495台(小学校114校・諸学校3校)
 アスベスト含有断熱材使用台数 14校 38台(小学校 14校)

非飛散型断熱材のため、直ちに飛散するおそれはありませんが、一層の安全性を確保する観点から、次の対応を行います。

経年劣化している回転釜本体を更新する。 3校 4台
 断熱材をグラスウール製に交換する。 10校 31台
 使用していない回転釜本体を撤去する。 3校 3台

(参考)対象リスト

学校名	回転釜の台数		対応		
	設置台数	アスベストあり(内数)	断熱材交換	本体撤去	本体更新
1 A 小学校	4	2	2		
2 B 小学校	4	1			1
3 C 小学校	5	5	4	1	
4 D 小学校	4	3	3		
5 E 小学校	5	2	2		
6 F 小学校	4	4	4		
7 G 小学校	5	2			2
8 H 小学校	4	2	2		
9 I 小学校	4	4	4		
10 J 小学校	5	3	3		
11 K 小学校	4	4	4		
12 L 小学校	5	4	3	1	
13 M 小学校	5	1		1	
14 N 小学校	4	1			1
合 計	62	38	31	3	4
(学校数)	(14)		(10)	(3)	(3)

(問い合わせ先)
 教育委員会総務部教育施設課 飯塚
 電話: 200-3269
 内線: 50401

市有施設におけるアスベスト含有吹付け材等の使用実態調査の中間報告について

川崎市では、平成8年度以前に竣工した全ての市有施設について、アスベストが含有する可能性のある吹付け材等の使用状況を調査しているところです。

このたび、各所管局において実施した調査について、10月21日現在の状況がまとめましたので、中間報告いたします。

なお、最終報告は12月末を目途に取りまとめることとしてあります。

1 第1次調査概要

- 調査対象 平成8年度以前に竣工した全ての市有施設を対象としています。
- 調査内容 吹付けアスベスト、アスベスト含有吹付けロックウール、折板裏打ちアスベスト等について、施設の管理者が現場にて使用の有無を目視調査したもので、調査にあたっては材料が判断できないものは全て対象に含めることとしました。

2 調査状況

(1)市有施設（学校・保育園を除く）

調査対象施設数	アスベスト含有吹付け材等を使用していない施設	吹付け材の使用が認められたもの、又は材料が判断できないもので2次調査を行う施設
866施設	656施設	210施設

(2)学校・保育園（吹付けアスベスト、アスベスト含有吹付けロックウールについては対応済み。）

調査対象施設数	吹付けひる石、パーライト吹付け材等を使用していない施設	分析調査（第3次調査）を行っている施設
254施設	119施設	135施設

3 今後の調査

第1次調査を基に、使用材料及び状況調査を建築技術者等により第2次調査を行う。さらに、分析調査が必要なものについては第3次調査を行い12月末を目途に報告書を取りまとめる。

（問い合わせ先）

まちづくり局施設整備部施設設計画課 沖山

電話：200-2954 内線：37101

教育委員会事務局総務部教育施設課 飯塚

電話：200-3269 内線：50401

健康福祉局こども施策推進部保育運営課 椎野

電話：200-2686 内線：34301

アスベスト取扱い工場について

1 事業所について

- ・ 事業所名：日本耐熱線工業株式会社
- ・ 所在地：川崎市中原区今井上町 81-1
- ・ 従業員数：12名
- ・ 作業内容：石綿を湿潤させ、水と接着剤を混ぜ、湿式フェルティング機と呼ばれる機械を用いて裸電線に被覆させていた。

2 取扱い状況

石綿：約 350 kg

保管状況：3重に保管されており、飛散する恐れはない。

3 今後の対応について

当該事業所では大気汚染防止法に該当する特定粉じん発生施設はありませんでした。

また、現在はアスベストの使用を中止し、セラミックを代替品としております（平成17年4月をもってアスベスト含有製品の製造は中止したことを確認しております。）が、早急に事業所周辺のアスベスト濃度調査を行う予定です。

アスベストの在庫品については、法令に遵守した廃棄処理をするよう指導しております。

（問い合わせ先）

環境局公害部環境対策課 岩瀬

電話：200-2515

内線：30201

環境局生活環境部廃棄物指導課 漆畠

電話：200-2592

内線：31301